

参加自由
事前予約不要

M.メルロ＝ポンティ

『子どもの心理－社会学 ソルボンヌ講義2』(みすず書房)刊行記念

翻訳者トークイベント

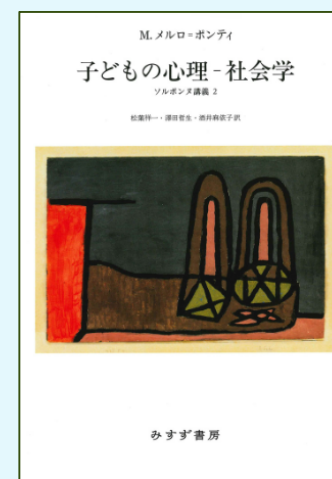
「メルロ＝ポンティと子どもの心理学を考える」

日時：2023年7月11日(火) 16:30-18:30(予定)

場所：立命館大学衣笠キャンパス
平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
オンライン配信 (QRコードからご参加ください)

登壇者：松葉祥一 (同志社大学講師)
澤田哲生 (東北大学准教授)
酒井麻依子 (立命館大学専門研究員)
司 会：加國尚志 (立命館大学教授)

オンライン (ZOOM)参加方法：QRコード、以下URLよりご参加ください。
<https://ritsumeai-ac-jp.zoom.us/j/96728769222?pwd=Tzc2QmVGU1FaNGdIT0JCc21PMzdMQT09>
ミーティングID: 967 2876 9222 パスコード: 599821



20世紀フランスを代表する哲学者・現象学者であるM.メルロ＝ポンティ(1908-1961)のソルボンヌ大学での講義録『子どもの心理－社会学 ソルボンヌ講義2』がこのたび刊行されました。同書は彼が児童心理学・教育学の講座を担当していた時期(1949-1951年)の講義録であり、子どもの意識の発達と対人関係、他者や社会性の形成について、児童心理学や精神分析の成果に基づきつつ、現象学的な視点から論じるものです。私たちはこの講義から、知覚や身体を経験を踏まえながら、心理学と哲学を結びつける彼の独特の方法を学ぶことができます。

このイベントでは、同書の翻訳者の方々をお招きし、同書の意義と魅力について語っていただき、現象学と心理学の関係について考える機会といたします。